Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格		TÜV, UL　取得予定		
定　格	使用温度範囲	−25℃ ～ +105℃ （通電による温度上昇分を含む）	保存温度範囲	−10℃ ～ +60℃
	電　圧	AC 600 V , DC 600 V	————	————
	電　流	94 A(22mm²電線使用時) 132 A(38mm²電線使用時) 175 A(60mm²電線使用時)	適合ケーブル	22mm² (AWG 4) 38mm² (AWG 2) 60mm² (AWG 1/0)

性　能

	項　目	試　験　方　法	規　格	QT	AT
構造	外観，構造及び仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接触抵抗	単位ｺﾝﾀｸﾄを DC 1 A で測定する。	0.1 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000ＭΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 2500 Vの電圧を1分間印加する。 (NECA C 2811)	せん絡･絶縁破壊がないこと	○	—
	短時間耐電流	2640A 1 秒で測定する。(22mm² 電線使用時) 4560A 1 秒で測定する。(38mm² 電線使用時) 7200A 1 秒で測定する。(60mm² 電線使用時) (JIS C 8201)	接触抵抗 : 0.15 mΩ以下	○	—
機械的性能	圧着端子の挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿入力 280 N 以下 抜去力 250 N 以下	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①機能を損なう破損，ひび，部品のゆるみがないこと。 ②接触抵抗: 0.15mΩ以下 ③挿入力 280 N 以下 ④抜去力 250 N 以下	○	—
	耐振性 △1	周波数 10～55Hz、片振幅0.75mmで 3方向 各2時間試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)	①10μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 500 m/s², 持続時間 11 ms, 3軸計 6方向 各5回試験する。	①10μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損，ひび，部品のゆるみがないこと。	○	—
	端子固定力	結線側より、250N の引き抜き力を加える。 (NECA C 2811)	破壊がないこと。	○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度40±2℃、相対湿度90～95%、96時間放置 常温・常湿の室内に戻して付着した水分を拭き取る。(NECA C 2811)	①絶縁抵抗:20MΩ以上 ②耐電圧:AC2500Vの電圧を1分間印加し、せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損，ひび，部品のゆるみがないこと	○	—
	耐寒及び耐熱試験	−25±3℃に2時間放置後取り出し、常温に1時間放置する。その後、70±3℃に2時間放置後取り出す。(NECA C 2811)	①絶縁抵抗:20MΩ以上 ②耐電圧:AC2500Vの電圧を1分間印加し、せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損，ひび，部品のゆるみがないこと	○	—
	エージング試験	94A (22mm²電線使用時)、 132A (38mm²電線使用時)、 175A (60mm²電線使用時) の電流印加状態で40±3℃に10分間放置後、30℃まで冷却し、10分間放置する。このサイクルを192回実施する(JIS C 8201)	①接触抵抗:0.15mΩ以上 ②破損，ひび，部品のゆるみがないこと	○	—

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△1	1	DIS-C-00003876	EK.KIDO	TP.KOMATSU	20200311

備考
(注1) : 上記規格値は、適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示します。
(注2) : 製品名の*には1～5の任意の数が入ります。
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。

承　認	YH.YAMADA	20170724
検　図	TP.KOMATSU	20170724
担　当	WR.AJIRO	20170721
製　図	WR.AJIRO	20170721

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目

HRS	製品規格表	図番	SLC-119825-00-00		
	ヒロセ電機株式会社	製品名	EF2-D150-*		
		製品ｺｰﾄﾞ	CL142	△1	1/1